韓国の独学学士と単位銀行に関する特別講演会のお知らせ

韓国では、高等教育レベルの生涯学習機会を保障することを目的として1990年代から独学学士試験制度と単位銀行制度が設けられ、大学卒業によらない学士の学位取得の方途が提供されています。独学学士試験制度は中央教育評価院を経て放送通信大学が管轄し、また単位銀行制度は韓国教育開発院が管轄していましたが、2008年に新たに平生教育振興院(National Institute for Lifelong Education)が設立され、これら二つの制度を管轄しています。平生教育振興院が遂行するこれらの制度は、東アジア圏内のみならず世界的に見ても大規模な高等教育レベルの生涯学習機会として知られています。

このたび、大学評価・学位授与機構では同振興院の鄭碩九事務総長(Executive Director, Dr. Chung Suk-Koo)をお招きし、下記のように独学学士試験と単位銀行に関する特別講演会を開催することといたしました。この講演会は、高等教育機会の拡大といった問題意識にある実例を以て答えると共に、単位累積加算制度や大学外の高等教育レベルの学習の評価による学位の授与といった大学評価・学位授与機構の学位授与事業の課題を検討する上で貴重な示唆を与えるものと思われまます。ご来聴を歓迎します。

記

日時： 2011年9月21日(水) 13:30-16:00

場所： 学術総合センター11階会議室
(東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 大学評価・学位授与機構 竹橋オフィス)

講師： 韓国平生教育振興院 事務総長 鄭碩九 博士
(Dr. Chung, Suk-Koo, Executive Director, National Institute for Lifelong Education, Korea)

題目： “Lifelong Education System in Korea: ACBS and BDES”
(「韓国における生涯教育システムー単位銀行制度と独学学士試験制度」)
*講演は英語で行われ、同時通訳を準備します。

ご参加のお申し込みは下記にお願いいたします。

大学評価・学位授与機構 研究開発部事務室

藤澤^{ふじさわ}・吉野^{よしの} (Tel: 042-307-1822/ email: gakui-kenkyu@niad.ac.jp)

*席数が限られておりますことをあらかじめご承知おきください。